

■米国：電力信頼度協議会、猛暑で節電要請緊急アラートを発令

テキサス電力信頼度協議会（ERCOT）は2019年8月13日午後3時10分、猛暑に伴う電力需要の増大により、供給予備力が基準（300万kW）を下回る、230万kW以下となったため、節電要請の緊急アラート（EEA1：Energy Emergency Alert Level 1）を発令した（同日午後5時に解除）。同日午後、ERCOTの需給調整市場（リアルタイム市場）の価格は、9,000ドル/MWhに達した。前日の2019年8月12日、ERCOT管轄エリアの最大電力需要は過去最大（7,453万kW、午後4～5時）を記録した。EEA1発令日（2019年8月13日）の最大電力需要は7,418万kW（午後3～4時）であった。今後2020年と2021年には、新規の風力・太陽光発電の稼働により、供給予備力は高まる見通しである。なお、ERCOTのEEA1発令は2014年1月（早朝の供給予備力不足発生）以降初であった。